

舗道 

●新庄市の新庄北高（高橋剛文校長）で11日、今春入学した137人を対象にした自転車安全教室が開かれた。生徒たちはスマートフォンを操作しながら運転する危険性などを身をもって体験した。写真。

●県教育委員会が主催。地元の新庄第一自動車学校、新庄警察署の協力を得て開いた。生徒は講演で自転車道交法で軽車両と見なされ、自動車同様に法律を守って乗らなければならないことを教わった。

●実技に移り、スマホをいじりながら実際に運転をしたほか、イヤホンを着けた状態で背後から近づく自動車をどの時点で察知できるかなどを確かめた。ながら運転では、方向が定まらない生徒がほとんど



だった。小林里夢さん(15)は「片手運転は危なくて怖いので普段からしません」ときっぱり。

「優良ドライバー」を続けることを誓っていた。

(佐々木亨)